

リクトップ

Rik-

タイリクヒメハナカメムシ剤

Top

www.agrisect.com



アザミウマ類を速やかに攻撃。

リクトップは、アザミウマ類の捕食性天敵であるタイリクヒメハナカメムシをボトルに封入した天敵製剤です。放飼したタイリクヒメハナカメムシは、葉裏や花の内部に寄生したアザミウマ類を探索して大量に捕食します。

施設内にタイリクヒメハナカメムシを定着させることで、長期間アザミウマ類の増殖が抑制できます。



リクトップ
(100頭入り)

リクトップ
(500頭入り)

抜群の即効性！



リクトップ導入例



タイリクヒメハナカメムシ成虫



ミカンキイロアザミウマ成虫

撃退!

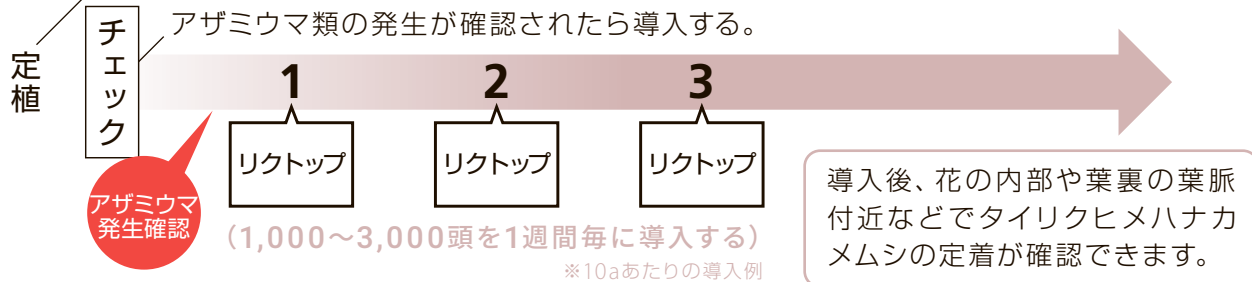


アザミウマ類による被害(吸汁痕)

導入のタイミング

粘着捕虫資材（ペタットブルーなど）を設置してアザミウマ類の発生予察を行う。

アザミウマ類が粘着捕虫資材に捕獲される、作物への寄生が発見されるなど、アザミウマ類の発生が確認されたら導入する。



商品詳細

商品名：リクトップ

種類名：タイリクヒメハナカメムシ剤

製品規格：100頭/100mlボトル

500頭/500mlボトル

(その他の成分の鉍物質は石綿不検出)

学名：Orius strigicollis

(農林水産省登録第21545号)

リクトップ

リクトップについて



タイリクヒメハナカメムシ成虫

有効成分の種類：タイリクヒメハナカメムシ成虫
 含有量：100頭/100ml
 500頭/500ml
 その他の成分：鉍物質（石綿不検出）

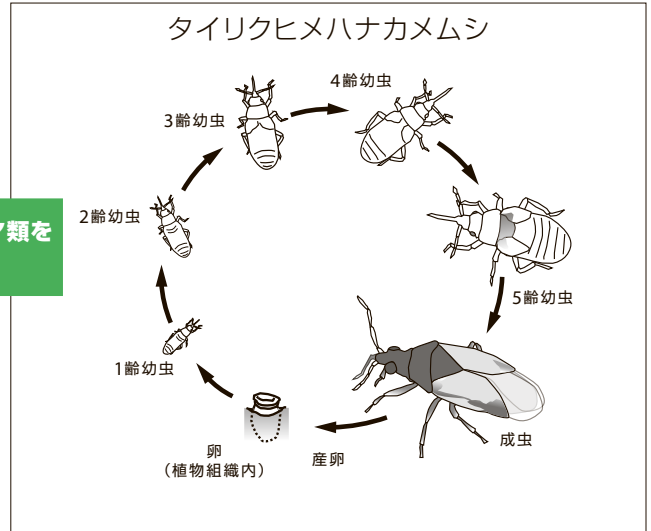
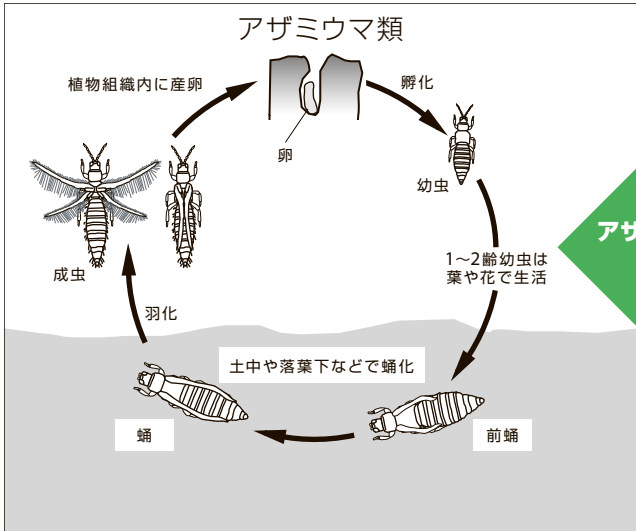
農林水産省登録第21545号
 適用表：

作物名	適用病害虫名	使用量
野菜類 (施設栽培)	アザミウマ類	1,000～ 3,000頭/10a

リクトップ導入のタイミング

●アザミウマ類の発生が確認されたら導入。

■虫を知る 害虫とその天敵の生活サイクルを知りましょう。

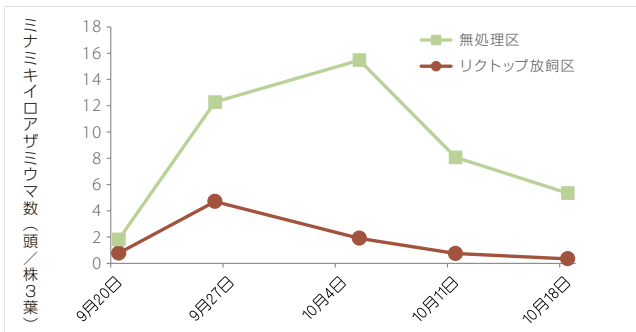


アザミウマ類を捕食

体長	雌成虫 1.0～1.1mm (ミナキイロアザミウマ) 1.3～1.7mm (ミカンキイロアザミウマ)
ライフサイクル	卵→幼虫(1齢～2齢)→前蛹→蛹→成虫 ※幼虫および成虫が植物を加害する。
発育期間(卵～成虫)	約12日(ミカンキイロアザミウマ:25℃環境下)
増殖方法	両性生殖および単為生殖
被害	一般的に植物の葉や花に寄生し、吸汁(食害)する。被害は作物や加害部位によって様々だが、部分的な退色または褐変、かすり症状などが見られる。また、ウイルス病を媒介する。

体長	成虫 約1.8～2.2mm ※雄成虫は雌に比べやや小さい。
ライフサイクル	卵→幼虫(1～5齢)→成虫 ※捕食活動を行うのは、幼虫(1～5齢)および成虫
発育期間(卵～成虫)	約16日(25℃環境下)
増殖方法	両性生殖
捕食対象	広食性で、アザミウマ、ダニ、アブラムシなどを常食としている。ヨトウムシの卵や花粉なども摂食することが知られている。
成虫の平均捕食数	1日当たりアザミウマ成虫10頭以上

■試験例：アザミウマに対する防除効果



試験地：日本植物防疫協会研究所(宮崎試験場)(2001年)
 害虫発生状況：ミナキイロアザミウマ少発生
 作物名：なす(品種：黒陽、定植：1999年8月22日)
 リクトップ放飼数：約1300頭/10a
 放飼月日：2001年9月20日(第1回放飼), 10月4日(第2回放飼)

■こんな農薬が併用できます

農薬名	タイリクヒメハナカメムシへの影響	適用作物
ウララDF	0日	なす など
バイレーツ粒剤	ほとんど影響ない	野菜類(施設栽培)
プリロッソ粒剤	ほとんど影響ない	きゅうり、なす、ピーマン など
プレオフロアブル	ほとんど影響ない	きゅうり、とうがらし類、なす、ピーマン など
ベネビアOD	ほとんど影響ない	いちご、きゅうり、ピーマン など
ペリマークSC	ほとんど影響ない	きゅうり、なす、ピーマン など

※適用作物中、タイリクヒメハナカメムシの利用が不向きなトマト類は割愛しました。薬剤使用の際は必ず薬剤容器等に記載されている内容を再確認してください。

2017.04

お問い合わせ・ご注文は

販売元